



So-net M3

(財)財務会計基準機構会員

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月28日

上場会社名 ソネット・エムスリー株式会社

上場取引所 東

コード番号 2413 URL <http://www.so-netm3.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役

(氏名) 谷村 格

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 永田 朋之

TEL 03-5408-0800

四半期報告書提出予定日 平成21年8月7日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	2,199	11.8	1,064	15.9	1,077	13.1	614	17.0
21年3月期第1四半期	1,966	—	917	—	952	—	525	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	2,347.84	2,322.23
21年3月期第1四半期	2,013.06	1,984.89

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	13,006	10,390	75.7	37,610.69
21年3月期	12,542	10,214	80.0	38,331.94

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 9,841百万円 21年3月期 10,030百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	3,300.00	3,300.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

(注) 現時点において、平成22年3月期の配当予想額は未定です。今後の資金需要動向とキャッシュ・フローの状況とを勘案し、株主配当の水準を決定する予定です。

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	5,000	22.1	2,000	7.6	2,000	1.5	1,100	3.5	4,203.83
通期	11,500	34.7	4,800	20.3	4,800	15.1	2,700	14.2	10,318.50

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

(注) 1株当たり予想当期純利益については、平成22年3月期第1四半期連結累計期間中平均株式数261,666株に基づいて算出しています。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有
新規 1社 (社名 メビックス株式会社) 除外 1社 (社名)
(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご参照ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無
(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご参照ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第1四半期 261,666株 21年3月期 261,666株

② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 0株 21年3月期 0株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第1四半期 261,666株 21年3月期第1四半期 260,928株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する事項は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、5ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間において、引き続き医療従事者専門サイト「m3.com」の基盤強化を進め、医師会員は3千人増加の17.7万人に達しました。

既存サービスについては、顧客への各サービスの浸透も進み、順調に推移しました。製薬会社向けのマーケティング支援サービスは、国内主要製薬会社のほぼ全社が既にご利用されている基本的な「提携企業」サービス、会員医師に対してメールで直接アプローチする「m3MT」サービス、「m3.com」のプラットフォーム上で会員医師が主体的、継続的に高頻度で情報を受け取れる「MR君」サービスと、意図や用途により選べるサービスメニューを提供しています。

また、会員医療従事者を対象とした調査サービス、会員へ医療情報以外のライフサポート情報を提供する「QOL君」などの一般企業向けマーケティング支援サービス、会員医師への求人求職支援サービスを行う「m3.com CAREER」、一般の方々からの健康や疾病に関する質問に「m3.com」登録医師が回答する「AskDoctors」（<http://www.AskDoctors.jp/>）、看護師、薬剤師向けの求人求職支援サービス、診療所の経営をサポートする「m3.com 開業・経営」等の新規サービスの拡充も進めています。

米国においては、「MR君」の米国版である「M3 Messages」上での、製薬会社から会員医師へ向けてのメッセージの送信が平成20年6月末より開始されました。「M3 Messages」サービス展開はその後も順調に進み、これまで「がん」「リウマチ」「神経科」領域で7社15薬剤の契約を獲得し、さらに拡大する傾向にあります。

また、平成21年3月3日から平成21年4月14日まで、IT活用による大規模臨床研究支援活動を行うメビックス株式会社（以下「メビックス」という）に対して公開買付けを実施した結果、メビックスは、平成21年4月21日に当社が株式の85.9%を所有する連結子会社となりました。

当第1四半期連結会計期間より、メビックスを新たに連結の範囲に含めたことに伴い、従来単一であった事業の種類別セグメントを変更しました。この変更に伴い、従来の事業を「医療ポータル」セグメントとし、メビックスの連結化に伴い新たに加わる事業を「エビデンスソリューション」セグメントに変更します。

なお、メビックスのみなし取得日は4月30日であること、四半期連結財務諸表作成に当たり、メビックスの決算日（4月30日）現在の財務諸表を利用していることから、当第1四半期連結会計期間において、メビックスの連結経営成績及びキャッシュ・フローの状況は反映していません。そのため、当第1四半期連結会計期間は、事業の種類別セグメントについては記載していません。第2四半期連結会計期間から、メビックスの連結経営成績及びキャッシュ・フローの状況（平成21年5月1日以降の期間）を反映すると共に、事業の種類別セグメントを記載する予定です。

分野別の売上高は以下のとおりです。

	平成21年3月期 第1四半期累計 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	平成22年3月期 第1四半期累計 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	(参考) 比較増減		(参考) 平成21年3月期 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)
	百万円	百万円	百万円	%	百万円
医療関連会社 マーケティング支援	1,364	1,442	+78	+5.7	5,812
調査	236	302	+66	+28.3	1,052
その他	366	453	+87	+23.9	1,669
売上高合計	1,966	2,199	+232	+11.8	8,534

(注) 当第1四半期連結累計期間より、従来「マーケティング支援」分野に区分していたQOL君サービス及び一部の提携企業サービスを「その他」分野に区分することとし、従来の「マーケティング支援」分野を「医療関連会社マーケティング支援」分野に変更しています。これに伴い、当第1四半期連結累計期間の「医療関連会社マーケティング支援」分野の売上高は52百万円減少し、「その他」分野の売上高は52百万円増加しています。また前第1四半期連結累計期間の「医療関連会社マーケティング支援」分野の売上高は56百万円減少し、「その他」分野の売上高は56百万円増加しています。

① 医療関連会社マーケティング支援

医療関連会社マーケティング支援分野の売上高は、1,442百万円(前年同期比5.7%増)となりました。顧客企業数の増加等により、「MR君」サービスの売上高が前年同期比4%増となった他、「m3MT」サービスが順調に推移し、全体としては前年同期比5.7%の増収となりました。

② 調査分野

調査分野の売上高は302百万円(前年同期比28.3%増)となりました。提携企業との連携強化等の要因により、調査サービスを展開する日本、米国の両市場において好調に推移しました。

③ その他分野

その他分野の売上高は、453百万円(前年同期比23.9%増)となりました。会員の増加が続く「AskDoctors」や「m3.com CAREER」が好調に推移した他、アイチケット株式会社も増収に貢献しました。

これらの結果、売上高は2,199百万円(前年同期比11.8%増)となりました。

売上原価については、業容拡大に伴う人件費の増加等の要因により、477百万円(前年同期比5.2%増)となりました。

販売費及び一般管理費については、業容拡大に伴う人件費や会員向けポイント関連費用の増加等の要因により、657百万円(前年同期比10.6%増)となりました。

これらの結果、営業利益は1,064百万円(前年同期比15.9%増)、経常利益は1,077百万円(同13.1%増)、四半期純利益は614百万円(同17.0%増)となりました。

所在地別セグメントの業績は、以下のとおりです。

① 日本

国内は、医療関連会社マーケティング支援分野、調査分野、その他分野とも好調に推移し、売上高2,006百万円(前年同期比11.7%増)、営業利益1,211百万円(同15.7%増)となりました。

② 北米

北米は、医療関連会社マーケティング支援分野がほぼ前年並みとなったものの、調査サービスが拡大し、売上高187百万円(前年同期比20.6%増)となりました。また、「M3 Messages」の先行費用が発生していることから、営業損失37百万円(同2百万円改善)となりました。

③ その他の地域

その他の地域は、韓国子会社の業績が引き続き低調に推移したことから、売上高17百万円(前年同期比6.9%減)、営業損失4百万円(前年同期比0.7百万円悪化)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

資産合計は、前連結会計年度末比463百万円増の13,006百万円となりました。メビックス株式会社(以下「メビックス」という)に対する公開買付けの実施等により現金及び預金が2,012百万円減少し、メビックスの新規連結の影響等により売掛金が836百万円増加したものの、流動資産は前連結会計年度末比770百万円減の9,318百万円となりました。またメビックスの新規連結に伴いのれんを864百万円計上したことを主な要因に、固定資産は前連結会計年度末比1,234百万円増の3,687百万円となりました。

負債合計は、前連結会計年度末比287百万円増の2,615百万円となりました。法人税等の支払により未払法人税等が525百万円減少する一方で、メビックスの新規連結の影響等により買掛金が404百万円増加したこと等により、流動負債は前連結会計年度末比245百万円増の2,256百万円となりました。固定負債は、投資有価証券の時価評価の影響等により繰延税金負債が40百万円増加したことを主な要因に、前連結会計年度末比41百万円増の358百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末比175百万円増の10,390百万円となりました。剰余金配当863百万円を行った一方、四半期純利益614百万円を計上したことにより利益剰余金が249百万円減少したこと、メビックスの新規連結の影響等により少数株主持分が361百万円増加したことが主な要因です。

（キャッシュ・フローの状況）

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末残高より2,072百万円減少し、5,929百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、430百万円の収入（前年同期比613百万円の収入増）となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益1,077百万円であり、支出の主な内訳は、法人税等の支払額926百万円です。

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,701百万円の支出（前年同期比1,565百万円の支出増）となりました。メビックスの子会社化における、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出1,642百万円が発生しています。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払により、800百万円の支出（前年同期比45百万円の支出増）となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの当期業績については、増収増益となることを見込んでいます。

医療関連会社マーケティング支援分野においては、引き続き「MR君」サービスの利用顧客数及び利用量の増加を中心とした国内事業の継続的な拡大と、米国を中心とした海外事業の成長を見込んでいます。

調査分野においては、製薬企業を中心とした旺盛な需要を背景に、調査サービスの継続的な成長を見込んでいます。

その他分野においては、「AskDoctors」サービスの会員増加をはじめ、各サービスの拡大を見込んでいます。以上のように、各分野とも増収となる見通しです。

費用については、更なる成長に向けた積極的な人員増等を計画していますが、既存サービスに直接関連する費用に関しては構造的な変化は見込んでいません。

また、米国「M3 Messages」サービス拡大のための費用の発生も、引き続き見込んでいます。

なお、新たに連結子会社となったメビックス株式会社については、平成21年5月から平成22年1月の9ヶ月分の業績を、当期の当社グループ業績見通しの対象に含んでおります。

これらを踏まえ、平成22年3月期の業績見通しを、以下のとおりとしております。

（単位 百万円）

	平成21年3月期 実績	平成22年3月期 業績予想	差異
売上高	8,534	11,500	+2,966
営業利益	3,990	4,800	+810
経常利益	4,170	4,800	+630
当期純利益	2,363	2,700	+337

※ 上記業績予想につきましては、本資料の作成日現在において入手可能な情報に基づいて算定しております。今後の経済状況等の変化により、実際の業績は異なる結果となる可能性があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

平成21年3月3日から平成21年4月14日まで、IT活用による大規模臨床研究支援活動を行うメビックス株式会社に対して公開買付けを実施した結果、メビックス株式会社は、平成21年4月21日に当社が株式の85.9%を所有する特定子会社になりました。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,178,312	8,191,260
売掛金	2,285,415	1,449,350
商品	17,771	2,025
仕掛品	167,962	41,505
その他	670,025	405,586
貸倒引当金	△1,199	△781
流動資産合計	9,318,288	10,088,948
固定資産		
有形固定資産	*1 167,095	*1 65,988
無形固定資産		
のれん	1,635,495	783,665
その他	269,189	195,557
無形固定資産合計	1,904,685	979,223
投資その他の資産		
投資有価証券	1,221,083	1,173,613
その他	394,854	234,808
投資その他の資産合計	1,615,938	1,408,422
固定資産合計	3,687,718	2,453,634
資産合計	13,006,007	12,542,583
負債の部		
流動負債		
買掛金	515,071	110,967
未払法人税等	408,693	934,442
ポイント引当金	317,445	314,961
その他の引当金	36,681	47,648
その他	978,923	603,085
流動負債合計	2,256,815	2,011,105
固定負債		
退職給付引当金	6,291	4,426
繰延税金負債	351,140	311,137
その他	983	1,085
固定負債合計	358,415	316,650
負債合計	2,615,231	2,327,755

(単位:千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,187,576	1,187,576
資本剰余金	1,415,971	1,415,971
利益剰余金	6,767,849	7,016,995
株主資本合計	9,371,396	9,620,543
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	551,427	497,481
為替換算調整勘定	△81,384	△87,859
評価・換算差額等合計	470,042	409,622
新株予約権	16,516	12,901
少数株主持分	532,819	171,759
純資産合計	10,390,775	10,214,827
負債純資産合計	13,006,007	12,542,583

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	1,966,566	2,199,398
売上原価	454,209	477,799
売上総利益	1,512,357	1,721,598
販売費及び一般管理費	※1 594,371	※1 657,346
営業利益	917,986	1,064,252
営業外収益		
受取利息	11,999	6,088
為替差益	17,236	—
持分法による投資利益	—	6,460
その他	6,892	6,125
営業外収益合計	36,127	18,674
営業外費用		
為替差損	—	4,789
持分法による投資損失	1,120	—
その他	7	479
営業外費用合計	1,127	5,269
経常利益	952,986	1,077,657
税金等調整前四半期純利益	952,986	1,077,657
法人税、住民税及び事業税	331,271	404,267
法人税等調整額	93,709	53,908
法人税等合計	424,981	458,176
少数株主利益	2,740	5,130
四半期純利益	525,264	614,350

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	952,986	1,077,657
減価償却費	17,935	22,039
のれん償却額	16,064	12,725
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△3,395
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	410
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△9,423	2,592
退職給付引当金の増減額(△は減少)	776	1,597
その他の引当金の増減額(△は減少)	△5,321	△10,651
受取利息及び受取配当金	△12,743	△8,217
為替差損益(△は益)	△17,236	4,789
持分法による投資損益(△は益)	1,120	△6,460
売上債権の増減額(△は増加)	38,621	180,584
たな卸資産の増減額(△は増加)	△8,741	△5,336
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△3,344	21,880
仕入債務の増減額(△は減少)	△40,489	8,158
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△76,914	52,533
その他	△9,597	△4,840
小計	843,691	1,346,070
利息及び配当金の受取額	12,743	10,634
法人税等の支払額	△1,040,187	△926,625
営業活動によるキャッシュ・フロー	△183,753	430,080
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,657	△2,453
定期預金の払戻による収入	—	4,662
有形固定資産の取得による支出	△4,530	△1,755
無形固定資産の取得による支出	△24,273	△17,003
敷金及び保証金の差入による支出	△5,158	△508
敷金及び保証金の回収による収入	—	3,169
投資有価証券の取得による支出	△41,052	—
投資有価証券の売却による収入	30,000	7,368
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△88,466	△1,642,564
貸付けによる支出	—	△52,228
投資活動によるキャッシュ・フロー	△136,138	△1,701,314
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△755,249	△800,640
財務活動によるキャッシュ・フロー	△755,249	△800,640
現金及び現金同等物に係る換算差額	△18,776	△796
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,093,917	△2,072,670
現金及び現金同等物の期首残高	6,778,327	8,001,977
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 5,684,410	※1 5,929,306

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)

当社グループは、インターネットを利用した医療関連事業に特化しているため1つのセグメントしかありませんので、記載を省略しています。

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)

当社グループは、従来、インターネットを利用した医療関連事業に特化しており1つのセグメントしかありませんでしたが、当第1四半期連結会計期間より大規模臨床研究支援事業を営むメビックス株式会社を新たに連結の範囲に含めたことに伴い、従来のインターネットを利用した医療関連事業を「医療ポータル」セグメントとし、メビックス株式会社の連結化に伴い新たに加わる大規模臨床研究支援事業等を「エビデンスソリューション」セグメントに変更しました。

なお、当第1四半期累計期間においては、メビックス株式会社のみなし取得日は4月30日であること、また、四半期連結財務諸表作成に当たってメビックス株式会社については4月30日現在の財務諸表を使用していることから、エビデンスソリューションセグメントの損益は含まれておらず、医療ポータルセグメントの損益しか含まれていないため、記載を省略しています。

〔所在地別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)

	日本 (千円)	北米 (千円)	その他の地域 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	1,791,931	155,583	19,051	1,966,566	—	1,966,566
(2) セグメント間の内部売上高 または振替高	4,470	—	—	4,470	(4,470)	—
計	1,796,401	155,583	19,051	1,971,036	(4,470)	1,966,566
営業利益(△損失)	1,046,838	△40,068	△3,717	1,003,052	(85,066)	917,986

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)

	日本 (千円)	北米 (千円)	その他の地域 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	1,994,061	187,596	17,740	2,199,398	—	2,199,398
(2) セグメント間の内部売上高 または振替高	12,613	—	—	12,613	(12,613)	—
計	2,006,674	187,596	17,740	2,212,012	(12,613)	2,199,398
営業利益(△損失)	1,211,705	△37,207	△4,476	1,170,021	(105,769)	1,064,252

(注) 1 国または地域は、地理的近接度により区分しています。

2 日本以外の区分に属する主な国または地域は次のとおりです。

北米：米国

その他の地域：韓国

〔海外売上高〕

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	155,583	19,051	174,635
II 連結売上高(千円)			1,966,566
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	7.9	1.0	8.9

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	187,596	17,740	205,337
II 連結売上高(千円)			2,199,398
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	8.5	0.8	9.3

(注) 1 国または地域は、地理的近接度により区分しています。

2 各区分に属する主な国または地域は次のとおりです。

北米：米国

その他の地域：韓国

3 海外売上高は、連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高です。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

	当第1四半期連結会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
1 連結の範囲に関する事項の変更	(1) 連結の範囲の変更 当第1四半期連結会計期間より、メビックス株式会社、クリニカルポーター株式会社、クリノグラフィ株式会社及びケルコム株式会社については新たに株式を取得したことから、連結の範囲に含めています。 (2) 変更後の連結子会社の数 9社
2 連結子会社の四半期決算日等に関する事項の変更	連結子会社のうち、メビックス株式会社、クリニカルポーター株式会社及びケルコム株式会社の第1四半期決算日は7月31日であり、クリノグラフィ株式会社の第1四半期決算日は6月30日です。四半期連結財務諸表作成に当たって、メビックス株式会社、クリニカルポーター株式会社及びケルコム株式会社については4月30日現在の財務諸表を使用し、クリノグラフィ株式会社については3月31日現在の財務諸表を使用しています。ただし、四半期連結決算日(6月30日)までの期間に発生した重要な取引については、連結上必要な調整を行っています。 また、So-net M3 USA Corporationについては、決算日を3月31日から12月31日に変更しました。四半期連結財務諸表作成に当たって、当該会社については、四半期連結決算日(6月30日)現在で実施した仮決算に基づく財務諸表を使用しています。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)
※1 有形固定資産の減価償却累計額は、217,942千円です。	※1 有形固定資産の減価償却累計額は、132,176千円です。

(四半期連結損益計算書関係)

前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりです。	※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりです。
報酬・給与 182,395千円	報酬・給与 205,239千円
販売促進費 168,611千円	販売促進費 166,502千円
賞与引当金繰入額 13,733千円	賞与引当金繰入額 15,526千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
※1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成20年6月30日現在)	※1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成21年6月30日現在)
現金及び預金勘定 5,973,332千円	現金及び預金勘定 6,178,312千円
預入期間3ヶ月超の定期預金 △288,922千円	預入期間3ヶ月超の定期預金 △249,005千円
現金及び現金同等物 5,684,410千円	現金及び現金同等物 5,929,306千円

(株主資本等関係)

当第1四半期連結会計期間末(平成21年6月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

1 発行済株式の種類及び総数

普通株式 261,666株

2 新株予約権等に関する事項

ストック・オプションとしての新株予約権

新株予約権の四半期連結会計期間末残高 親会社 16,516千円

(注) スtock・オプションとしての新株予約権の一部は、権利行使期間の初日が到来していません。

3 配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成21年4月23日 取締役会	普通株式	863,497	3,300	平成21年3月31日	平成21年6月8日	利益剰余金

(ストック・オプション等関係)

当第1四半期連結会計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

当第1四半期連結会計期間に付与したストック・オプションの内容

	第11回新株予約権
付与対象者の区分別人数	当社子会社取締役2名、当社子会社従業員14名
付与年月日	平成21年5月29日
株式の種類別のストック・オプションの付与数(注)	普通株式 63株
権利確定条件	権利確定日(権利行使期間の初日以降)において、当社もしくは当社の子会社等の役員または使用人のいずれの地位を有していること。
対象勤務期間	平成21年5月29日～平成23年5月28日
権利行使期間	平成23年5月29日～平成30年5月31日 ただし、権利確定後退職(退任)した場合は、退職(退任)日より6ヶ月以内まで行使可能。
権利行使価格(円)	333,000
付与日における公正な評価単価(円)	167,088

(注) 株式数に換算して記載しています。

(1株当たり情報)

1 1株当たり純資産額

当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)
1株当たり純資産額 37,610.69円	1株当たり純資産額 38,331.94円

(注) 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	10,390,775	10,214,827
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	549,336	184,661
(うち新株予約権)	(16,516)	(12,901)
(うち少数株主持分)	(532,819)	(171,759)
普通株式に係る四半期末(期末)の純資産額(千円)	9,841,439	10,030,165
1株当たり純資産額の算定に用いられた四半期末(期末)の普通株式の数(株)	261,666	261,666

2 1株当たり四半期純利益金額等

前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額 2,013.06円	1株当たり四半期純利益金額 2,347.84円
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額 1,984.89円	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額 2,322.23円

(注) 1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益(千円)	525,264	614,350
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益(千円)	525,264	614,350
期中平均株式数(株)	260,928	261,666
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	3,704	2,886
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

6. その他の情報

該当事項はありません。